



世界的名画『夜警』の謎が 350年の時を経て、 今解き明かされる!

1642年、36歳のレンブラントは人生の絶頂期にいた。

・流の肖像画家としての名声がヨーロッパ中にとどろき、莫大な富を得、待望の男子が誕生。 彼の栄華には一片の翳りもなかった。しかし『夜警』の完成後、彼の人生は転落する。

れは、レンブラントがあるスキャンダルを、絵筆を武器に暴露したことからはじまった…

画家をめぐる最高に贅沢な愛の物語

レンブラントと彼の人生を変えた3人の女たち ~成功に導いた妻、堕落させた愛人、純粋無垢な女神~

レンブラントの画商の姪で、やがて伯父に代わって彼の仕事のマネージメントを担当 する妻のサスキア。出逢いがビジネス絡みだったので、レンブラントはたびたび自分た ちの愛は本物か?と自問する。しかし、サスキアが亡くなって、初めてどんなに自分が彼 女を愛し、必要としていたかに気づき大きな悲しみにつつまれる。2人目は、家政婦の ヘールチェ。サスキアを亡くした悲しみを忘れるため、レンブラントは彼女との性的関 係に溺れていく。生活は乱れ、レンブラント転落の速度は速まるが、皮肉にも目の前 の悲しみは確かに癒された。やがてヘールチェとの関係に終止符を打ったレンブラン トは、20歳も年下のヘンドリッケの純粋さに、真に心から慰められる。この頃、まさにど ん底だったレンブラントは、闇に光が浮き上がる彼の絵の如く、暗闇の中で真実の愛 を見つけたのだ。

美術作家としても活躍する『コックと泥棒、その妻と愛人』の

鬼オピーター・グリーナウェイ監督が、謎に迫る。

サスキアには、『プルートで朝食を』のエヴァ・バーシッスル、ヘールチェには、『ラスト・ オブ・モヒカン』のジョディ・メイが扮している。そして、偉大な画家を、愛と欲、正義と悪 に引き裂かれる男として見事に演じきったのは、三谷幸喜の"笑いの大学"の英国版 ラスト・ラフ"にも主演しているマーティン・フリーマン。







第64回ヴェネチア国際映画祭正式出品作品

レンブラントの夜警

配給:東京テアトル/ムーピーアイ Nightwatching.jp

2008年1月12日田ロードショ

特別鑑賞券発売中・・・一般¥1.500(税込)一般¥1,800のところ 特製ポストカ

JR新宿南口徒歩2分 タカシマヤタイムズスクエア12F

5 SHINJUKU

10:30 | 13:30 | 16:30 | 19:30(終映22:10)